

2016年3月21日

アジア共同行動日本連絡会議 御中

被爆二世の会 代表 寺中正樹

アジア共同行動日本連絡会議の第21回総会開催、おめでとうございます。

貴会におかれましては、日々反戦・反核・反原発のために活動されていますことに対し、深く敬意を表します。

朝鮮半島は今混迷しています。日・米・韓が軍事演習を繰り返し、マスコミは朝鮮民主主義人民共和国（以下共和国）が何をするのか分からない暴君の独裁国家であると煽っています。当会は共和国の核実験には断固反対し、抗議します。それは核兵器は開発・製造・実験のあらゆる段階で民衆が被ばくするからです。しかし、だからといって共和国に制裁を加えたり、孤立化させることには反対です。なぜならば民衆が苦しむからです。朝鮮半島を安定させるには武力に頼るのではなくは民衆同志が交流し、お互い信頼し合える関係を築く必要があります。

貴会がアジアの民衆と信頼し合える関係を築き、岩国国際集会や国際総会を成功させたことは東アジアの安寧のためにとても大切な事です。

また昨年、当会は韓国の青年緑ネットワークが主催する「原爆70周年、被害者2世に聞く」座談会に参加しました。韓国の青年・学生が原爆被害について韓国と日本の被爆二世から話しを聞くという企画です。多くの大学生や若者達が私達の話に耳を傾けて下さいました。企画を主催した方が8・6広島青空式典に参加されました。

こうした関係が築けたのも貴会の協力があってこそです。今年も8・6広島青空式典に是非御参加下さい。

今後も貴会と共にアジアから核の恐怖と米軍基地を撤去させる闘いを行います。

総会のご盛會を祈ります。